



2024年12月期 第2四半期（中間期）決算短信〔日本基準〕（連結）

2024年7月31日

上場取引所 東

上場会社名 株式会社アドウェイズ
コード番号 2489 URL <https://www.adways.net/>
代表者 (役職名) 代表取締役 (氏名) 山田 翔
問合せ先責任者 (役職名) 上席執行役員 管理担当 (氏名) 田中 庸一 TEL 03-6771-8512
半期報告書提出予定日 2024年8月8日 配当支払開始予定日 —
決算補足説明資料作成の有無: 有
決算説明会開催の有無 : 有 (機関投資家・証券アナリスト・報道機関・株主向け)

(百万円未満切捨て)

1. 2024年12月期第2四半期（中間期）の連結業績(2024年1月1日～2024年6月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年中間期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 中間純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2024年12月期中間期	6,393	△6.6	53	△91.5	257	△67.9	178	△74.1
2023年12月期中間期	6,843	1.7	629	△33.7	803	13.2	690	△27.8

(注) 包括利益 2024年12月期中間期 246百万円 (△57.8%) 2023年12月期中間期 583百万円 (△78.4%)

	1株当たり 中間純利益	潜在株式調整後 1株当たり 中間純利益
	円 銭	円 銭
2024年12月期中間期	4.57	—
2023年12月期中間期	18.16	18.15

(注) 2024年12月期中間連結会計期間の潜在株式調整後1株当たり中間純利益については、希薄化効果を有する潜在株式が存在しないため、記載しておりません。

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2024年12月期中間期	23,420	14,651	60.9	364.72
2023年12月期	25,227	14,601	56.5	364.93

(参考) 自己資本 2024年12月期中間期 14,254百万円 2023年12月期 14,262百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2023年12月期	—	0.00	—	5.77	5.77
2024年12月期	—	0.00	—	—	—
2024年12月期(予想)	—	—	—	3.57	3.57

(注) 1. 直近に公表されている配当予想からの修正の有無: 無

2. 2024年12月期は、2023年12月期末の自己株式を除いた発行済株式数である39,082,120株から1株当たり配当金を算出しております。

3. 2024年12月期の連結業績予想(2024年1月1日～2024年12月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	14,200	5.0	770	△16.4	1,000	△23.8	580	△40.0	14.84

(注) 1. 直近に公表されている業績予想からの修正の有無: 無

2. 中間連結会計期間の業績予想につきましては、記載を省略しております。

3. 1株当たり当期純利益は、中間連結会計期間の期中平均株式数から自己株式を除いた発行済株式数である39,082,120株を通期平均株式数と仮定して算出しております。

4. 詳細は、添付資料「1. 経営成績等の概況 (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

※注記事項

(1) 当中間期における連結範囲の重要な変更: 無

(2) 中間連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用: 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)

2024年12月期中間期	42,006,000株	2023年12月期	42,006,000株
--------------	-------------	-----------	-------------

② 期末自己株式数

2024年12月期中間期	2,923,880株	2023年12月期	2,923,880株
--------------	------------	-----------	------------

③ 期中平均株式数(中間期)

2024年12月期中間期	39,082,120株	2023年12月期中間期	38,004,503株
--------------	-------------	--------------	-------------

※第2四半期(中間期)決算短信は公認会計士又は監査法人のレビューの対象外です。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(将来に関する記述等についてのご注意)

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、現時点で入手可能な情報に基づき判断した見通しであり、多分に不確定な要素を含んでおります。実際の業績等は、今後の様々な要因により大きく異なる可能性があります。

(決算補足説明資料及び決算説明会内容の入手方法)

本資料の開示とあわせて、決算説明会資料を開示しております。

また、2024年7月31日(水)に機関投資家・証券アナリスト・報道機関・株主向け決算説明会を開催する予定であります。

本説明会の動画(2024年12月期第2四半期(中間期)の業績・事業概況の説明)へのアクセスURLは、開催日同日に当社ウェブサイト(<https://ir.adways.net/>)にて開示予定であります。

○添付資料の目次

1. 経営成績等の概況	2
(1) 当中間期の経営成績の概況	2
(2) 当中間期の財政状態の概況	4
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	5
2. 中間連結財務諸表及び主な注記	6
(1) 中間連結貸借対照表	6
(2) 中間連結損益計算書及び中間連結包括利益計算書	7
中間連結損益計算書	
中間連結会計期間	7
中間連結包括利益計算書	
中間連結会計期間	7
(3) 中間連結キャッシュ・フロー計算書	8
(4) 中間連結財務諸表に関する注記事項	9
(継続企業の前提に関する注記)	9
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	9
(中間連結貸借対照表に関する注記)	9
(中間連結損益計算書に関する注記)	9
(中間連結キャッシュ・フロー計算書に関する注記)	9
(セグメント情報等の注記)	10
(重要な後発事象)	11
3. その他	11
継続企業の前提に関する重要事象等	11

1. 経営成績等の概況

(1) 当中間期の経営成績の概況

当中間連結会計期間(2024年1月1日から2024年6月30日)の当社グループにおける連結業績は以下のとおり、売上高6,393,588千円、営業利益53,673千円、経常利益257,772千円、親会社株主に帰属する中間純利益は178,449千円となりました。

[連結業績]

(単位:千円、端数切捨て)

	前中間連結会計期間 (2023年12月期)	当中間連結会計期間 (2024年12月期)	増減額 (増減率)
売上高	6,843,167	6,393,588	△449,578 (△6.6%)
営業利益	629,712	53,673	△576,039 (△91.5%)
経常利益	803,194	257,772	△545,422 (△67.9%)
親会社株主に帰属する 中間純利益	690,194	178,449	△511,744 (△74.1%)

当中間期における当社グループの業績は、アドプラットフォーム事業における全自動マーケティングプラットフォーム「UNICORN」の需要、国内のエージェンシー事業におけるマンガアプリを提供する広告主(クライアント)からの広告需要、及び海外のエージェンシー事業における台湾での広告需要は増加いたしました。しかしながら、アドプラットフォーム事業における「AppDriver」「Smart-C」の需要、国内のエージェンシー事業におけるゲームアプリや決済サービスアプリを提供する広告主(クライアント)からの広告需要、及び海外のエージェンシー事業における中国での広告需要が減少いたしました。以上の結果、売上高は6,393,588千円(前年同期比6.6%減)となりました。

売上高の減少に加え、新卒が入社したことによる人件費の増加等により、営業利益は減少し53,673千円(前年同期比91.5%減)となりました。

経常利益は、持分法による投資利益等を計上したものの、営業利益が減少したことにより257,772千円(前年同期比67.9%減)となりました。

税金等調整前中間純利益は、投資有価証券売却益及び関係会社株式売却益等を計上したものの、投資有価証券評価損等を計上したこと、及び経常利益が減少したことにより537,134千円(前年同期比50.3%減)となりました。

上記の結果、法人税等を計上したことにより、親会社株主に帰属する中間純利益は178,449千円(前年同期比74.1%減)となりました。

[報告セグメント別業績]

(単位:千円、端数切捨て)

		前中間連結会計期間 (2023年12月期)	当中間連結会計期間 (2024年12月期)	増減額 (増減率)	
外部 売上高	①アドプラットフォーム事業	2,067,975	1,961,234	△106,741 (△5.2%)	
	②エージェンシー事業	国内	2,844,996	2,757,139	△87,857 (△3.1%)
		海外	1,144,546	977,193	△167,353 (△14.6%)
		合計	3,989,543	3,734,332	△255,211 (△6.4%)
	③その他	785,648	698,021	△87,626 (△11.2%)	
セグメント利益	①アドプラットフォーム事業	832,010	236,336	△595,673 (△71.6%)	
	②エージェンシー事業	772,784	773,720	936 (0.1%)	
	③その他	61,582	159,039	97,456 (158.3%)	

①アドプラットフォーム事業

アドプラットフォーム事業は、スマートフォン向け広告サービス「AppDriver」及び「UNICORN」、モバイル向けアフィリエイト広告サービス「Smart-C」、PC向けアフィリエイト広告サービス「JANet」等、当社グループのアドプラットフォームを用いたインターネット広告の販売、及び運用を行っております。

当中間連結会計期間においては、全自動マーケティングプラットフォーム「UNICORN」におけるブランド広告の需要が増加いたしました。また、「AppDriver」「Smart-C」などの自社プロダクトを用いた広告需要が減少いたしました。

これらの結果、アドプラットフォーム事業の売上高は、1,961,234千円(5.2%減)、セグメント利益は236,336千円(71.6%減)となりました。

②エージェンシー事業

エージェンシー事業は、アプリ・ウェブの包括的マーケティング支援のため、アドプラットフォーム事業で提供している当社グループのアドプラットフォームを用いたインターネット広告に限らず、広告商品及び付随するサービスの代理販売を行っております。

当中間連結会計期間においては、国内ではマンガアプリを提供する広告主(クライアント)の予算拡大に伴う広告需要が増加したものの、ゲームアプリを提供する大型の広告主(クライアント)において新規ゲームのリリース数が減少したこと、決済サービスアプリを提供する広告主(クライアント)において広告予算が縮小したこと等により広告の需要が減少しました。

海外においては、台湾におけるブランド広告の需要が増加したものの、中国のゲームアプリを提供する広告主(クライアント)からの日本国内及び台湾に向けた広告配信が減少いたしました。

これらの結果、エージェンシー事業の売上高は3,734,332千円(前年同期比6.4%減)となりました。しかしながら、販売費及び一般管理費を抑制したことによりセグメント利益は773,720千円(前年同期比0.1%増)となりました。

③その他

その他は、士業向けのポータルサイトの運営や、インフルエンサーマーケティングの企画運営、サウナの運営事業等の新規事業等により構成されています。

当中間連結会計期間においては、インフルエンサーマーケティングの企画運営、サウナの運営事業では売上高が増加したものの、士業向けのポータルサイト、生活雑貨の販売事業などでの売上高が減少したため、売上高は698,021千円(前年同期比11.2%減)となりました。しかしながら、販売費及び一般管理費を抑制したことによりセグメント利益は159,039千円(前年同期比158.3%増)となりました。

(2) 当中間期の財政状態の概況

① 資産、負債、純資産の状況

(単位:千円、端数切捨て)

	前連結会計年度 (2023年12月期)	当中間 連結会計期間 (2024年12月期)	増減額 (増減率)
資 産 合 計	25,227,266	23,420,795	△1,806,470 (△7.2%)
負 債 合 計	10,625,945	8,769,492	△1,856,452 (△17.5%)
純 資 産 合 計	14,601,321	14,651,302	49,981 (0.3%)

[資産合計]

- ・流動資産は前連結会計年度末より1,735,966千円減少し18,204,151千円となりました。主な要因は、現金及び預金が208,710千円、受取手形、売掛金及び契約資産が1,000,938千円、その他に含まれる未収消費税が235,357千円、未収法人税等が308,706千円減少したことによるものであります。
- ・固定資産は前連結会計年度末より70,504千円減少し5,216,644千円となりました。主な要因は、投資その他の資産のその他に含まれる破産更生債権が99,212千円増加したものの、貸倒引当金の計上が99,308千円増加し、投資有価証券が80,448千円減少したことによるものであります。

[負債合計]

- ・流動負債は前連結会計年度末より1,831,812千円減少し8,510,670千円となりました。主な要因は、買掛金が1,306,988千円、未払法人税等が199,851千円減少したことによるものであります。
- ・固定負債は前連結会計年度末より24,640千円減少し258,822千円となりました。主な要因は、繰延税金負債が7,560千円、その他に含まれる長期未払費用が11,484千円減少したことによるものであります。

[純資産合計]

- ・前連結会計年度末より49,981千円増加し14,651,302千円となりました。主な要因は、その他有価証券評価差額金が121,953千円減少したものの、為替換算調整勘定が154,562千円増加したことによるものであります。

② キャッシュ・フローの状況

当中間連結会計期間末における現金及び現金同等物は、9,985,361千円となりました。

当中間連結会計期間における各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は次のとおりであります。

[営業活動によるキャッシュ・フロー]

営業活動によるキャッシュ・フローは、109,197千円の収入(前年同期は393,297千円の収入)となりました。主な要因は、税金等調整前中間純利益537,134千円に対して、仕入債務の減少1,084,957千円、投資有価証券売却及び評価損益の調整319,649千円、法人税等の支払額155,747千円による支出があったものの、売上債権の減少1,172,286千円による収入があったことによるものであります。

[投資活動によるキャッシュ・フロー]

投資活動によるキャッシュ・フローは、256,612千円の収入(前年同期は240,646千円の支出)となりました。主な要因は、投資有価証券の取得による支出95,060千円、連結の範囲の変更を伴う子会社株式の取得による支出96,001千円があったものの、投資有価証券の売却による収入411,895千円があったことによるものであります。

[財務活動によるキャッシュ・フロー]

財務活動によるキャッシュ・フローは、234,783千円の支出(前年同期は2,829,836千円の支出)となりました。主な要因は、配当金の支払額による支出225,601千円があったことによるものであります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

当社グループが主に手掛けているインターネット広告市場は、国内及び海外のスマートフォン関連ビジネスの市場拡大等を受け、更なる伸長を続けるものと思われまます。また、インターネット広告市場自体の成長、新しいテクノロジーを活用した広告配信及びクリエイティブの向上等の影響で、今後も市場拡大が期待されます。

当社グループは、国内及び海外のインターネット広告事業に経営資源を重点的に分配し、広告主(クライアント)数及び提携媒体(メディア)数の増加、大手メディアや独自のアドテクノロジーを持つ企業との戦略的な提携を行うことで、取引の拡大と売上の増加を図るとともに、他社との差別化を図ってまいります。

このような状況のもと、当中間連結会計期間の当社グループにおきましては、全自動マーケティングプラットフォーム「UNICORN」を利用したブランド広告をはじめとする広告配信、及びマンガアプリを展開する広告主(クライアント)からの需要等が拡大しております。

これらの状況を踏まえ、当社グループの主力事業であるインターネット広告事業の市場の変化を鑑み、2024年12月期(2024年1月1日～2024年12月31日)の売上高は、14,200百万円を見込んでおります。

営業利益は、売上高の増加により770百万円を見込んでおり、経常利益1,000百万円、親会社株主に帰属する当期純利益は580百万円を見込んでおります。

(剰余金の配当予想)

当社グループは、中長期的な企業価値の向上に努め、株主に対する利益還元を行うことを経営の最重要課題の一つと認識しております。その基本方針として、財務体質の強化及び将来の事業展開に備えるための内部留保の充実を中心に据えながら、その業績並びに業績の見通しに応じた適切かつ安定した利益還元を実施していく予定です。

2024年12月期の普通配当におきましては、当社の2024年12月期(2024年1月1日～2024年12月31日)の連結業績見通し、株主の皆様への継続的な利益還元及び今後における企業価値の向上を目的とする事業展開のための所要資金等の内部留保を勘案した結果、親会社株主に帰属する当期純利益の24%の配当性向もしくは1株当たり配当金3円00銭と同額のどちらか高い方を配当の目処として期末配当を実施する方針といたしております。本方針より、現時点の業績予想、配当性向24%、及び2023年12月期末の自己株式を除いた発行済株式数である39,082,120株から算出される1株当たり配当金3円57銭が3円00銭よりも高いため、現時点の普通配当予想は3円57銭といたします。

なお、普通配当金額は配当性向24%に基づいて算出しておりますので、業績の結果により配当金額が変動いたします。また、自己株式の消却や新株予約権の権利行使等により配当対象となる株式数が増減した場合には、発行済株式数の変動に従い1株当たり配当金額は変更されます。

当社の配当方針につきましては、2024年12月期から2026年12月期の3ヶ年の普通配当において、第1期を除く当社事業年度を基準とした配当性向(当期は第25期であるため親会社株主に帰属する当期純利益24%)より算出される1株当たりの金額、もしくは1株当たり配当金3円00銭を基準に毎期10銭を増配した1株当たりの配当金のいずれか高い方を目途としております。

なお、当社グループが事業展開を行うインターネット広告を取り巻く市場は、環境が著しく変化するため、個別の業績予想並びに中間連結会計期間における連結業績予想の開示は省略しております。

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、現時点で入手可能な情報に基づき判断した見通しであり、多分に不確定な要素を含んでおります。実際の業績等は、今後の様々な要因により大きく異なる可能性があります。

2. 中間連結財務諸表及び主な注記

(1) 中間連結貸借対照表

(単位:千円)

	前連結会計年度 (2023年12月31日)	当中間連結会計期間 (2024年6月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	10,188,696	9,979,986
預け金	5,375	5,375
受取手形、売掛金及び契約資産	8,499,386	7,498,448
棚卸資産	※ ¹ 57,713	※ ¹ 51,562
その他	1,239,188	710,974
貸倒引当金	△50,242	△42,195
流動資産合計	19,940,117	18,204,151
固定資産		
有形固定資産	1,200,045	1,173,122
無形固定資産		
のれん	694	61,337
その他	131,594	103,938
無形固定資産合計	132,289	165,275
投資その他の資産		
投資有価証券	3,100,086	3,019,638
長期貸付金	※ ² 415,722	※ ² 412,375
その他	1,212,137	1,318,673
貸倒引当金	△773,131	△872,440
投資その他の資産合計	3,954,814	3,878,246
固定資産合計	5,287,148	5,216,644
資産合計	25,227,266	23,420,795
負債の部		
流動負債		
買掛金	7,807,315	6,500,326
未払法人税等	522,833	322,982
賞与引当金	55,753	—
その他	1,956,580	1,687,361
流動負債合計	10,342,482	8,510,670
固定負債		
繰延税金負債	62,035	54,475
退職給付に係る負債	16,990	20,477
その他	204,436	183,869
固定負債合計	283,462	258,822
負債合計	10,625,945	8,769,492
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,717,126	1,717,126
資本剰余金	5,359,612	5,367,993
利益剰余金	8,087,284	8,040,230
自己株式	△2,091,607	△2,091,607
株主資本合計	13,072,415	13,033,741
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	464,246	342,292
為替換算調整勘定	706,218	860,780
退職給付に係る調整累計額	19,484	17,369
その他の包括利益累計額合計	1,189,949	1,220,442
新株予約権	93,035	115,880
非支配株主持分	245,920	281,237
純資産合計	14,601,321	14,651,302
負債純資産合計	25,227,266	23,420,795

(2) 中間連結損益計算書及び中間連結包括利益計算書
(中間連結損益計算書)
(中間連結会計期間)

(単位:千円)

	前中間連結会計期間 (自 2023年1月 1日 至 2023年6月30日)	当中間連結会計期間 (自 2024年1月 1日 至 2024年6月30日)
売上高	6,843,167	6,393,588
売上原価	1,204,174	1,170,553
売上総利益	5,638,992	5,223,035
販売費及び一般管理費	※1 5,009,280	※1 5,169,361
営業利益	629,712	53,673
営業外収益		
受取利息	6,904	11,285
受取配当金	2,888	2,612
持分法による投資利益	94,108	108,631
投資事業組合運用益	51,187	39,787
その他	23,957	45,180
営業外収益合計	179,045	207,496
営業外費用		
自己株式取得費用	2,799	—
その他	2,763	3,398
営業外費用合計	5,563	3,398
経常利益	803,194	257,772
特別利益		
固定資産売却益	12	3,590
投資有価証券売却益	374,728	397,754
関係会社株式売却益	—	27,603
特別利益合計	374,741	428,948
特別損失		
段階取得に係る差損	—	641
減損損失	47,572	—
固定資産除却損	—	1,979
投資有価証券評価損	37,933	86,338
関係会社株式売却損	—	19,370
本社移転費用	9,443	—
在外連結子会社リストラクチャリング費用	2,867	41,255
特別損失合計	97,816	149,586
税金等調整前中間純利益	1,080,118	537,134
法人税、住民税及び事業税	414,071	294,877
法人税等調整額	18,762	48,766
法人税等合計	432,834	343,644
中間純利益	647,284	193,490
非支配株主に帰属する中間純利益又は非支配株主に 帰属する中間純損失 (△)	△42,909	15,040
親会社株主に帰属する中間純利益	690,194	178,449

(中間連結包括利益計算書)
(中間連結会計期間)

(単位:千円)

	前中間連結会計期間 (自 2023年1月 1日 至 2023年6月30日)	当中間連結会計期間 (自 2024年1月 1日 至 2024年6月30日)
中間純利益	647,284	193,490
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△151,710	△120,061
為替換算調整勘定	110,274	161,213
退職給付に係る調整額	△323	△309
持分法適用会社に対する持分相当額	△22,447	11,785
その他の包括利益合計	△64,207	52,628
中間包括利益	583,077	246,118
(内訳)		
親会社株主に係る中間包括利益	600,747	208,942
非支配株主に係る中間包括利益	△17,670	37,175

(3) 中間連結キャッシュ・フロー計算書

(単位:千円)

	前中間連結会計期間 (自 2023年1月 1日 至 2023年6月30日)	当中間連結会計期間 (自 2024年1月 1日 至 2024年6月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前中間純利益	1,080,118	537,134
減価償却費	113,635	113,743
のれん償却額	7,225	3,324
貸倒引当金の増減額 (△は減少)	21,621	△5,213
賞与引当金の増減額 (△は減少)	△6,650	△55,753
株式報酬費用	24,069	22,844
受取利息及び受取配当金	△9,792	△13,897
支払利息	18	32
減損損失	47,572	—
固定資産売却損益 (△は益)	—	△3,590
固定資産除却損	—	1,979
在外連結子会社リストラクチャリング費用	2,867	41,255
投資事業組合運用損益 (△は益)	△51,187	△39,787
投資有価証券売却及び評価損益 (△は益)	△336,795	△319,649
持分法による投資損益 (△は益)	△94,108	△108,631
売上債権の増減額 (△は増加)	1,302,818	1,172,286
前渡金の増減額 (△は増加)	95,411	△55,213
仕入債務の増減額 (△は減少)	△375,411	△1,084,957
未収入金の増減額 (△は増加)	121,372	△12,185
未収消費税等の増減額 (△は増加)	31,339	237,533
未払金及び未払費用の増減額 (△は減少)	△100,655	△76,237
未払消費税等の増減額 (△は減少)	△215,242	△106,906
前払費用の増減額 (△は増加)	△27,615	99,547
前受金の増減額 (△は減少)	△17,250	△52,562
預り金の増減額 (△は減少)	15,430	△19,763
その他	△28,158	△23,224
小計	1,600,635	252,109
利息及び配当金の受取額	58,496	12,867
利息の支払額	△18	△32
補助金の受取額	229	—
法人税等の支払額又は還付額 (△は支払)	△1,266,045	△155,747
営業活動によるキャッシュ・フロー	393,297	109,197
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形固定資産の取得による支出	△529,085	△68,248
無形固定資産の取得による支出	△775	△980
無形固定資産の売却による収入	4,000	—
投資有価証券の取得による支出	△161,497	△95,060
投資有価証券の売却による収入	393,110	411,895
貸付けによる支出	△6,300	△1,347
貸付金の回収による収入	33,783	44,559
関係会社株式の売却による収入	—	0
差入保証金の差入による支出	△29,188	△11,951
投資事業組合からの分配による収入	112,773	74,328
連結の範囲の変更を伴う子会社株式の売却による支出	—	△15,018
連結の範囲の変更を伴う子会社株式の取得による支出	—	△96,001
その他	△57,467	14,437
投資活動によるキャッシュ・フロー	△240,646	256,612
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の返済による支出	—	△1,360
新株予約権の行使による株式の発行による収入	667	—
自己株式の取得による支出	△2,002,735	—
配当金の支払額	△555,818	△225,601
非支配株主への配当金の支払額	—	△6,699
連結の範囲の変更を伴わない子会社株式の取得による支出	△270,640	△0
その他	△1,309	△1,122
財務活動によるキャッシュ・フロー	△2,829,836	△234,783
現金及び現金同等物に係る換算差額	△368,986	△339,737
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	△3,046,170	△208,710
現金及び現金同等物の期首残高	12,869,748	10,194,072
現金及び現金同等物の中間期末残高	※1 9,823,577	※1 9,985,361

(4) 中間連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(中間連結貸借対照表に関する注記)

※1 棚卸資産の内訳は次のとおりであります。

	前連結会計年度 (2023年12月31日)	当中間連結会計期間 (2024年6月30日)
商品及び製品	56,583千円	50,091千円
原材料及び貯蔵品	1,129	1,471

※2 長期貸付金の内、代表取締役社長山田翔氏への貸付金は次のとおりであります。

	前連結会計年度 (2023年12月31日)	当中間連結会計期間 (2024年6月30日)
長期貸付金	399,900千円	399,900千円

(中間連結損益計算書に関する注記)

※1 販売費及び一般管理費のうち主要な費目及び金額は次のとおりであります。

	前中間連結会計期間 (自 2023年1月 1日 至 2023年6月30日)	当中間連結会計期間 (自 2024年1月 1日 至 2024年6月30日)
給与及び手当	2,254,499千円	2,407,858千円
退職給付費用	25,316	29,419
貸倒引当金繰入額	21,668	△3,878

(中間連結キャッシュ・フロー計算書に関する注記)

※1 現金及び現金同等物の中間期末残高と中間連結貸借対照表に掲記されている科目の金額との関係は次のとおりであります。

	前中間連結会計期間 (自 2023年1月 1日 至 2023年6月30日)	当中間連結会計期間 (自 2024年1月 1日 至 2024年6月30日)
現金及び預金勘定	9,751,777千円	9,979,986千円
預け金勘定 (注)	71,800	5,375
預入期間が3か月を超える定期預金	—	—
現金及び現金同等物	9,823,577	9,985,361

(注) 預け金は証券会社に対しての一時的な預け入れであり、随時引き出し可能であることから現金及び現金同等物に含めております。

(セグメント情報等の注記)

【セグメント情報】

I 前中間連結会計期間(自 2023年1月1日 至 2023年6月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報並びに収益の分解情報

(単位:千円)

	報告セグメント			その他 (注)1	合計	調整額 (注)2	中間連結損益 計算書計上額 (注)3
	アドプラットフォーム事業	エージェンシー事業	計				
売上高							
国内	2,013,590	2,844,996	4,858,587	785,648	5,644,235	—	5,644,235
海外	54,384	1,144,546	1,198,931	—	1,198,931	—	1,198,931
顧客との契約から生じる収益	2,067,975	3,989,543	6,057,519	785,648	6,843,167	—	6,843,167
外部顧客に対する売上高	2,067,975	3,989,543	6,057,519	785,648	6,843,167	—	6,843,167
セグメント間の内部売上高又は振替高	350,087	155,615	505,702	79,199	584,901	△584,901	—
計	2,418,062	4,145,158	6,563,221	864,847	7,428,069	△584,901	6,843,167
セグメント利益	832,010	772,784	1,604,794	61,582	1,666,377	△1,036,664	629,712

(注)1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、新規事業等を含んでおります。

2. セグメント利益の調整額△1,036,664千円は、主に報告セグメントに配分していない一般管理費等の全社費用であり、主に役員及び間接部門に係る費用であります。

3. セグメント利益は、中間連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(固定資産に係る重要な減損損失)

エージェンシー事業において、のれんの減損損失47,572千円を計上しております。

(のれんの金額の重要な変動)

「固定資産に係る重要な減損損失」に記載の通り、エージェンシー事業においてのれんの減損損失を行ったことにより、のれん金額に重要な変動が生じております。

(重要な負ののれん発生益)

該当事項はありません。

II 当中間連結会計期間(自 2024年1月1日 至 2024年6月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報並びに収益の分解情報

(単位:千円)

	報告セグメント			その他 (注)1	合計	調整額 (注)2	中間連結損益 計算書計上額 (注)3
	アドプラットフォーム事業	エージェンシー事業	計				
売上高							
国内	1,940,709	2,757,139	4,697,848	698,021	5,395,870	—	5,395,870
海外	20,524	977,193	997,718	—	997,718	—	997,718
顧客との契約から生じる収益	1,961,234	3,734,332	5,695,566	698,021	6,393,588	—	6,393,588
外部顧客に対する売上高	1,961,234	3,734,332	5,695,566	698,021	6,393,588	—	6,393,588
セグメント間の内部売上高又は振替高	281,660	114,416	396,076	201,642	597,718	△597,718	—
計	2,242,894	3,848,749	6,091,643	899,663	6,991,307	△597,718	6,393,588
セグメント利益	236,336	773,720	1,010,057	159,039	1,169,097	△1,115,424	53,673

(注)1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、新規事業等を含んでおります。

2. セグメント利益の調整額△1,115,424千円は、主に報告セグメントに配分していない一般管理費等の全社費用であり、主に役員及び間接部門に係る費用であります。

3. セグメント利益は、中間連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(固定資産に係る重要な減損損失)

該当事項はありません。

(のれんの金額の重要な変動)

「その他」において、子会社株式の取得によりのれんが63,967千円発生しております。

(重要な負ののれん発生益)

該当事項はありません。

(重要な後発事象)

該当事項はありません。

3. その他

継続企業の前提に関する重要事象等

該当事項はありません。